

ECU エラーチェックツール

商品コード	(4P コネクタ) 764-9001100	(6P コネクタ) 764-9001200
適合車種	スーパーカブ 50 系 / クロスカブ 50 (AA06/07/09) ・スーパーカブ 110 系 / クロスカブ 110 (JA42/44/45) ・モンキー 125 (JB02) ・スーパーカブ C125 (JA48) ・CT125 ハンターカブ (JA55) ・グロム (JC61/75) ・~'20 HRC グロム (GROM4) ・'21 ~ HRC グロム (GROM5) 等	スーパーカブ 110 (JA59) ・クロスカブ 110 (JA60) ・グロム (JC92) ・モンキー 125 (JB03/05) ・ダックス 125 (JB04/06) ・スーパーカブ C125 (JA58/71) ・CT125 ・ハンターカブ (JA65) 等

●この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行ってください。

■製品、装着についての注意

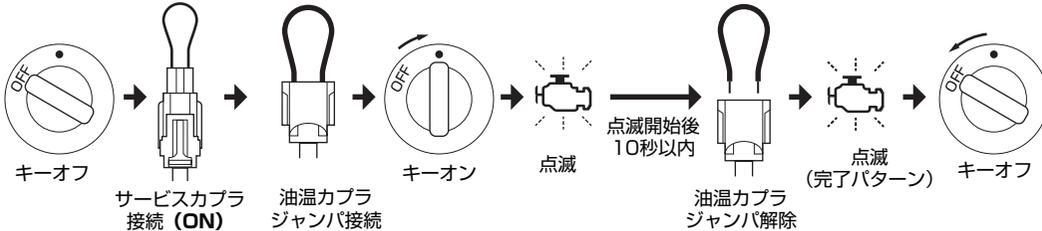
- 道路運搬車両法及び、道路交通法に従い、法定内での運転を手掛けて下さい。事故、道路交通法違反は、全て運転手本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい
- 組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 組み付けミス及び、セッティング不良等によるエンジンその他関連パーツの破損、それに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず、整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 説明書に記載されていない改造や仕様変更等は絶対にしないで下さい。故障、破損の原因にもなります。また精密機械ですので、強い衝撃等を与えたり、分解したりしないで下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を行ってください。
- スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意ください。
- お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。

製品概要

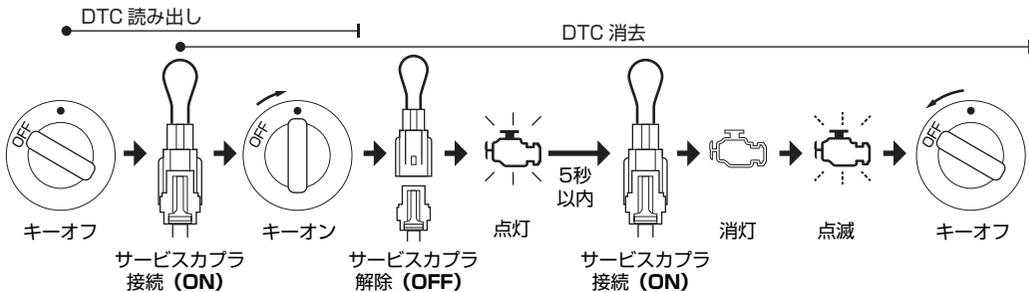
診断コードの読み出しやスロットル開度センサーのリセットを行うカプラーの脱着作業を、ECU エラーチェックツールの ON/OFF スイッチで手軽に行えます。

パッキングリスト	4P		6P		備考
	パーツ名	商品コード	個数	個数	
ジャンパハーネス	764-9011101	1	1		スロットル開度センサーのリセットに使用 ※ HRC グロムは使用しません。
ECU エラーチェックツール	4P	764-9001100A	1	-	
	6P	764-9001201	-	1	ユーロ 5

スロットル開度センサーのリセット手順



故障診断コード (DTC) の確認 / 消去



製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良があった場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれに伴う故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代金はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。



〒577-0015 東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740

241031

故障診断コード (DTC) の読み出し / 消去、スロットル開度 (TP) のリセット手順

※当製品はエンジンコントローラーユニット (ECM) の消去 (リセット) 操作は対応していません。

- ▼ **スロットル開度センサーのリセット** スロットルボディ取り付け後など、下記のセンサーのリセット作業を行ってください。
- ※ **車種によりジャンパハーネスを使用する場所が異なりますので、詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。**

※ ECM に DTC* が保存されていない状態で、この作業を行ってください。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行ってください。(詳細は保存された DTC の消去手順を参照)

*DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes

*DLC = Data Link Connector

- ・メインスイッチを "OFF" にしてから、サービスチェックカプラー (DLC) 位置を確認の上、DLC の 4P または 6P (赤) カプラーからダミーカプラーを取り外します。[Fig.02]
- ・付属の ECU エラーチェックツール (サービスコネクタ) を使用して DLC 端子に接続する。
- ・油温 (EOT) センサ (または水温センサ) コネクタを取り外し、付属の「ジャンパハーネス」を接続して下さい。[Fig.03]
- ・メインスイッチを "ON" にしてください。(キルスイッチが " " の状態)

① PGM-FI 警告灯 [Fig.04] が「リセット受信パターン」の点滅 (0.3 秒 / 1.3 秒間隔) を開始

- ・10 秒以内に「ジャンパハーネス」を油温センサ (または水温センサ) コネクタカプラーから取り外します。

① PGM-FI 警告灯が先程より短い間隔 (0.3 秒) の点滅を始めれば、リセットが完了。

※ 10 秒以上経過した場合や手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は点灯状態となる。[リセット失敗] 再度、リセット作業を最初からやり直す。

- ・メインスイッチを "OFF" にして下さい。

- ・油温センサ (または水温センサ) コネクタを接続し、DLC からサービスコネクタを取り外してください。

[Fig.01]

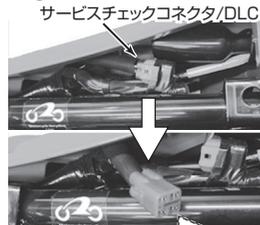


ECU エラーチェックツール
▼ (サービスコネクタ 4/6P)

※HRCグロムは使用しません。

スイッチ	OFF (遮断)
操作機能	ON (導通)

[Fig.02]



サービスチェックコネクタ/DLC

(Fig.01) ECUエラーチェックツール (サービスコネクタ) を接続

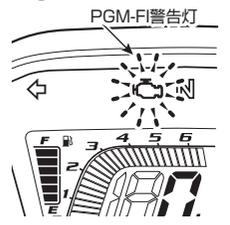
[Fig.03]



ジャンパハーネス

油温センサコネクタ (または水温センサコネクタ)

[Fig.04]



PGM-FI警告灯

- ▼ **保存されている故障診断 DTC* の読み出しと消去** *DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes
- 車種により場所が異なりますので、詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。 *DLC = Data Link Connector

※ ECM に DTC* が保存されていない状態で、この作業を行ってください。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行ってください。(詳細は保存された DTC の読み出しと消去手順を参照)

- (DTC) 診断データの読み出し

- ・メインスイッチを "OFF" にする。(キルスイッチが " " の状態)
- ・サービスチェックカプラー位置を確認の上、サービスチェック 4P または 6P (赤) カプラーから、ダミーカプラーを取り外します。 [Fig.02]
- ・付属の ECU エラーチェックツール (サービスコネクタ) をサービスチェック 4P または 6P (赤) カプラーに接続して下さい。 [Fig.01/02]
- ・メインスイッチを ON にする。
- ・PGM-FI 警告灯の点滅を読み、故障診断表を参照する。

① ECM のメモリ内に格納された過去の問題がある場合、PGM-FI 警告灯は 0.3 秒間点灯後、DTC の点滅を開始する。(診断コードの詳細はサービスマニュアルを参照)

① PGM-FI 警告灯が点灯したままの場合は、DTC は保存されていません。

- 保存された (DTC) 診断データの消去

- ※ 通常この手順は不要ですが、診断データ (エラー等) が保持されている場合は実施してください。
- ・サービスコネクタをサービスチェックカプラー (DLC) に接続する。
- ・メインスイッチを "ON" にする。
- ・DLC からサービスカプラーを取り外す。 [Fig.01]
- ・PGM-FI 警告灯が 5 秒間点灯している間にサービスコネクタを DLC に再度接続する。

① PGM-FI 警告灯が消灯して点滅を始めたら、DTC は消去されている。 [成功パターン]

① PGM-FI 警告灯が点灯している間にサービスコネクタを再接続させる必要がある。そうでないと、PGM-FI 警告灯は点滅を開始しない。この場合メインスイッチ OFF で、もう一度やり直すこと。

① PGM-FI 警告灯が点滅する前にメインスイッチを OFF にした場合、DTC が消去されないので注意すること。